

読売新聞 きょう（1月10日）のイチ押し

1面など 在日米軍 外出制限 日米が声明

日米両政府は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、在日米軍関係者の不要な外出を制限するとの共同声明を発表しました。制限期間は10日から14日間です。在日米軍基地の周辺地域で感染が広がっていることから、日本政府が米側に対策強化を求めています。

- ★ 共同声明は、基地内外でのマスク着用の義務付けを明記したほか、出入国時の検査を徹底し、入国後14日間の行動制限を厳格に行うことも盛り込まれました。
- ★ 感染拡大が顕著な沖縄、山口、広島の3県に対し、緊急事態宣言に準じた対策が可能になる「まん延防止等重点措置」が9日から適用されました。対象地域は沖縄県が全域、広島県は広島市など13市町、山口県は岩国市と和木町で、期間は31日までです。

1面・2面 先端技術の輸出 迅速規制 日米検討

日米両政府が、先端技術の輸出を規制する新たな枠組み作りを検討していることがわかりました。民間の先端技術を活用して軍事力を高めているとみられる中国への輸出を食い止めることが念頭にあるようです。

- ★ 規制する具体的な対象は調整中ですが、半導体製造装置や量子暗号、人工知能（AI）に関連する技術などが含まれそうです。
- ★ 旧ソ連など共産圏諸国の軍事力強化につながる技術の流出を防ぐために西側諸国は一時期、「対共産圏輸出統制委員会（ココム）」（1949～1994年）を設けていましたが、新たな枠組みは、中国の台頭を踏まえた「現代版ココム」に発展する可能性もあります。

他紙と比べて

1月10日は「110番の日」です。戦後の1948年に緊急通報用の専用番号として設けられたものの、当初は地域ごとに番号が異なっていました。東京は最初から「110」でしたが、大阪・京都は「1110」だったそうです。そんな、意外と知らない「110番」の歴史や仕組みについて、大阪社会部の大阪府警担当記者が「New門」のページ（5面）で解説しています。